

とうほうだい 授業だより 【特別編、生きる力を頂く詩】

11月28日、木曜日。秋はメランコリーになりやすい季節だと言われます。メランコリーの意味は、特別な理由もなく気分が重く苦しくなることと辞書にありました。思い通りにならない事、理不尽な事はどうしても避けられない出来事。そこでそれらを乗り越えさせくれる詩を今回は紹介します。

「悩めるS子に」 作：坂村 真民

だまされてよくなり

悪くなってしまったては駄目

いじめられてよくなり

いじけてしまったては駄目

ふまれておきあがり

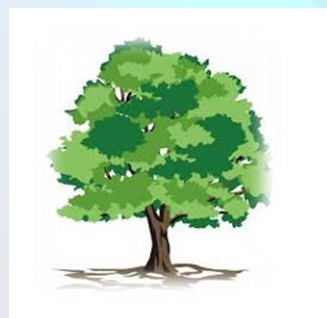
倒れてしまったては駄目

いつも心は燃えていよう

消えてしまったては駄目

いつも瞳は澄んでいよう

濁ってしまったては駄目



大人も子どもも、誰しも重い荷物を背負って生きているのではないのでしょうか。この詩は、人間どういう心持ちでいることが尊いことなのかを教えてくれているように思います。「**ファイト、ファイト**」です。